

三郷学で構想する まちづくりワークショップだより

第6号

平成22年
12月13日発行

- ◆〒341-8501 埼玉県三郷市花和田 648 番地 1
- ◆電話：048-930-7763 / FAX：048-953-1169
- ◆ホームページ：http://www.city.misato.lg.jp/
- ◆三郷市 企画総務部 企画調整課

「第4回三郷学で構想するまちづくりワークショップ」を開催！

11月19日（金）は、第4回目の三郷学で構想するまちづくりワークショップが開かれました。

この「三郷学」は、三郷市自治基本条例や第4次三郷市総合計画の内容を実現するための基盤づくりの政策として位置づけられています。

今回も、前回に続き、ワークショップに参加されている方で早めにこられる方を対象に改善した方がよいことなどワークショップに参加しての感想を話し合った後、午後1時30分からワークショップを開催しました。

はじめに、市の事務局から、これまでの振り返りと全体スケジュールや6回を通してのねらいを説明し、来年2月まで続くこのワークショップで、①政策形成ハンドブック案と②三郷学講座カリキュラム案（三郷学検定を含む。以下同じ）を作ることを再確認しました。

また、本日は、政策形成ハンドブック案を作成する班と三郷学講座カリキュラム案を作成する班に3班ずつ分かれて、前回と同じくそれぞれのグループでファシリテータ、発表者を選出してもらうことを説明しました。そのうえで、前回たくさん出していただいた意見をまとめ構造化してもらい、最後に全ての参加者の前で各班ごとに発表してもらうことを説明しました。

各班では、ファシリテータと発表者を決めたあと、

意見の構造化を行うにあたり、前回の意見のおさらいを兼ねて、前回のワークショップの際に出た①政策形成ハンドブック案と②三郷学講座カリキュラム案に関する意見が書かれているポストイット（付箋紙）の貼られた模造紙で意見の再確認をしました。



〈ワークショップでの話し合いの様子〉

用語解説①

- ・ワークショップ ⇒ 参加者による付箋記入や対話・議論の作業。
- ・SWOT分析 ⇒ 意思決定する際に、(Strengths)、弱み (Weaknesses)、機会 (Opportunities)、脅威 (Threats) を評価するために用いる分析手法。

三郷学講座カリキュラム案を作成する班では、KJ法を使用し、

①三郷学講座カリキュラムについて検討した結果、①主催者については市や実行委員会など、②参加者（どういう人に来てもらいたい）については生徒、学生、成人など、③参加費については無料や1講座500円など、④カリキュラム（時間のある人、あまり時間のない人など）については開催単位を年単位で月1回など、開催形式を座学だけでなく体験型を取り入れたものなど、講座の時間を1講座90分ぐらいなど、⑤今の三郷にとって学ぶことが必要なもの&自分だったら何を学びたいかについては、三郷市の歴史やまちづくり、防犯や環境など、⑥他と連携の必要なことについては市内で活動している団体との連携や大学など、各検討事項について、参加者からたくさんの意見が出されました。



〈ワークショップでの話し合いの様子〉

さらに、KJ法を使用し、②三郷学検定について検討した結果、①主催者については市や実行委員会など、②参加者（どういう人に来てもらいたい）については生徒、学生、成人など、③参加費については無料や1,000円以内など、④段級については初級、中級、上級の3段階など、⑤テキスト（自治基本条例・総合計画・市政概要2009・広報みさとなど）については講座を担当する課で別に分かりやすいものを作成するなど、⑥今の三郷にとって何を知ってもらうことが大切かについては三郷の魅力や歴史など、⑦問題集についてはテーマごとや級段別に作成するなど、⑧活用方法については郷土意識の向上を図るや若い人にアピールするなど、⑨その他についてはじっくり検討する時間を設けるや検定のメリットが必要など、各検討事項について、参加者からたくさんの意見が出されました。



政策形成ハンドブック案を作成する班では、SWOT分析、KJ法、特性要因図を使用し、①三郷学をすすめるためには（三郷学をすすめるための方策）について検討した結果、三郷の資源の活用が重要であるとの意見が出されました。

さらに、②政策形成ハンドブックの配布先について検討した結果、①誰が使うのかについては小・中学生、大人など、②どこに配布するのかについては地域の団体や個人など、③全体のボリュームについては写真やイラストを盛り込んでA3で1枚や冊子など、④構成については広報と同時に配布するなど、各検討事項について、参加者からたくさんの意見が出ました。

〈ワークショップでの話し合いの様子〉

用語解説②

- ・KJ法 ⇒ 考えをカードに記入し、カードをグループごとにまとめ、考えを整理する方法。
- ・特性要因図 ⇒ 特性と要因の関係を系統的に線で結んで（魚の骨のように）表した図。
フィッシュボーン・チャート、魚骨図とも呼ばれる。特性とは、管理の成績・成果として得るべき指標をいう。